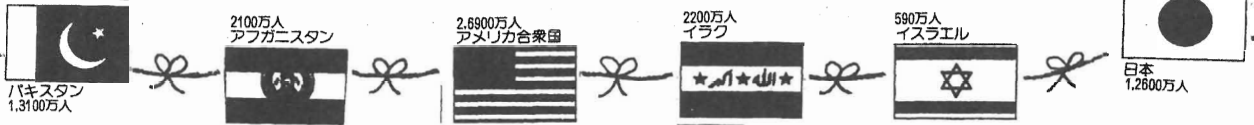


井戸端だより

第35号

2001.9.17

くらしの学習会



台風が一つ過ぎ、もう一つの台風が沖縄周辺でもたもたしている間に、アメリカで、信じられないようなことが起こってしまいました。ニューヨーク世界貿易センターツインビルに2機のハイジャックされた飛行機が激突炎上、建物崩壊、一方で国防省の建物にこれまた乗っ取られた飛行機が激突炎上、ピッツバーグでも乗っ取られた飛行機が墜落炎上、“同時多発テロ事件”と称される大事件が起きたのです。救出作業もむなしく、5000人を超える死者・行方不明者を出す大惨事となってしまいました。オサマ・ビンラディン氏率いるイスラム原理教過激派の仕業だとされる今回のテロ事件は、ハイジャックした飛行機全体を爆弾として使った自爆テロというショッキングなやり方、一般人を広く巻き込んだ残虐さなどどれをとっても人間として断固許されるべきことではないと思います。アメリカは、今回の攻撃を「戦争行為」と位置づけて、世界中を巻き込んだ大規模な報復行動への準備を進めています。日本も無関係ではいられないでしょう。武力による制裁・・・報復は報復を呼びます。何とか、戦争によらない解決の道はないのでしょうか。この会報が皆さんのお手元に届く頃、戦争が起きていないことを切に願いつつ今この文を書いています。前重信町の英語助手だったピーター・サーシさんや前愛大医学部の研究員だった司さんから無事だというメールが届いてほっとする一方、今後の成り行きを考えると不安で胸がいっぱいになります。いろいろな主義主張を持った人間が平和に共生する事はできないものでしょうか。

目次

- ・7月例会報告 市町村合併について話を聞きました・・・p.2
- ・9月例会報告 重信町選挙違反事件関連記事・・・p.3~4
- ・くらしの学習会発行本「蝶のくる庭」関連記事・・・p.5~6
- ・環境問題を考える(水)・・・p.7・雑感(私の宿題のその後)・・・p.8
- ・携帯電話と災害対策についての社説・・・p.9
- ・秋のおさんぽ会のお知らせ その他・・・p.10

市町村合併についての話を聴きました。

7月23日(月)、市町村合併についての現状を町役場の加藤章さんに伺いました。松山市と合併するか、川内町と重信町の2町での合併となるかで、それぞれにメリットとデメリットがあり、1つ1つ検討してゆかなければならない大変な作業だなあというのが私の実感でした。

こんなことを書くと、今さら何を言っているのだとお思いになる方もいらっしゃると思います。けれども、私は重信町民ではなく、松山市民であるため、市町村合併についての情報をあまり持ちあわせていません。もちろん、市町村合併は暮らしに関わる大きな問題ですから、重信町民でなくとも情報を得ておくべきです。しかしながら松山市に住んでいると、市町村合併が話題にのぼることはほとんどないというのが現状です。友人、知人に聞いてみても、多くの場合「市町村合併？ ああ、そんなこともあったね」という反応ですから、話題にのぼるはずもありません。市民の注目はむしろ、中予分水やバリアフリー、ゴミ問題、正岡子規などに集まっているように思います。つまり、私と同様、市町村合併にはそれほど興味がないというのが本音なのでしょう。

興味の有無はさておき、地方自治ということを考えて場合、小さい方が適当であると私は感じています。なぜなら、個々人の状況を把握しやすく、各々の事情に配慮した対応が可能となるからです。また、結局のところ、歩いて移動できる範囲が人間の行動範囲だろうとも思うからです。ですから、今回の市町村合併についての説明を何度伺っても、「暮らしにくくなりそうやナー」という感想をもつばかりです。ところが、市町村合併は私の感覚とは異なるリクツによって進められています。

そこで、そのリクツを理解して、納得され、周囲の人々を説得しようとしている方々に教えていただきたいことがあります。まず、暮らしに密着した自治体であっても、大きい方が良いと考える根拠は何なのでしょう。また、地域住民1人1人に対して、合併はどんなメリットがあるのでしょうか。合併がベストという結論に至るまでに、それ以外の方法をいくつ論じたのでしょうか。これらの事柄について、私が理解できるように教えていただけたら幸いです。

ところで、重信町は合併によって、どんな地域づくりを目指しているのでしょうか。きちんと議論した上で、「こういう地域にしたいから、そのために合併が必要である」という場合には合併すべきです。しかしながら、そのビジョンが見えないままの合併は、合併そのものが目的であると判断せざるを得ません。

合併する、しないに関わらず、市町村合併には多くのお金と時間が使われます。ですから少なくとも市町村合併に関連する作業が終わる頃には、地域に関する十分な議論がなされて、重信町は暮らしやすい地域になっているべきだと私は思います。(T.S)

9月例会報告

8月例会は8月27日にしまなみ街道に繰り出し、伯方の塩の工場見学などを計画していましたが、諸般の事情により中止となりました。またの機会に行きたいと思えます。

さて、9月例会は、9月10日（月）1時半から町民会館で行いました。会員6名が参加しました。7月の例会で話し合われた合併問題のその後について意見が出ました。

- ・ 支部別懇談会の段階では町は全く中立の立場だと言っていたのに町はもう川内との合併を決めているという噂が根強くあるが本当か。
- ・ 町は、合併問題を決めるための参考にするために、住民にアンケート調査をしようと言っているが、できれば選挙人名簿に載っている人全員に調査して欲しい。少数の調査結果を持って全体の民意を推測すると言っているが恣意的に選ぶ可能性もある一部の調査結果を持って決めて欲しくない。
- ・ 町民主体の合併問題の捉え方はできないか。自分たちの町をどのようにしたいのかの観点が欠けているのではないか。では具体的にどのようなことができるのか。

また、重信町助役の選挙違反事件が問題になりました。

町長はいいことも悪いことも町民に説明すべき。今回のことは役場ぐるみでのこと、当然謝罪すべきではないのか。また、その機会を設けるべきである。

(下 関連新聞記事 次ページ関連社説)

七月二十九日投票の元恒候補室邑||当選|| 違反容疑で和田助役を逮捕。同助役は今日三日、和田治樹町長あてに「二一上の都合」を理由に辞職を提出。松山地検は、

七月二十九日投票の元恒候補室邑||当選|| 違反容疑で和田助役を逮捕。同助役は今日三日、和田治樹町長あてに「二一上の都合」を理由に辞職を提出。松山地検は、

重信町助役に罰金刑

公選法違反 公民権停止3年

松山簡裁

七月二十九日投票の元恒候補室邑||当選|| 違反容疑で和田助役を逮捕。同助役は今日三日、和田治樹町長あてに「二一上の都合」を理由に辞職を提出。松山地検は、

七月二十九日投票の元恒候補室邑||当選|| 違反容疑で和田助役を逮捕。同助役は今日三日、和田治樹町長あてに「二一上の都合」を理由に辞職を提出。松山地検は、

七月二十九日投票の元恒候補室邑||当選|| 違反容疑で和田助役を逮捕。同助役は今日三日、和田治樹町長あてに「二一上の都合」を理由に辞職を提出。松山地検は、

七月二十九日投票の元恒候補室邑||当選|| 違反容疑で和田助役を逮捕。同助役は今日三日、和田治樹町長あてに「二一上の都合」を理由に辞職を提出。松山地検は、

社説

内海村長ら逮捕

先の参院選をめぐり、温泉郡重信町助役に続き南宇和郡内海村長が、公務員の地位を利用して役場内で部下の課長らに投票の

とりまとめや投票を依頼したとして、公選法違反の疑いで逮捕されている。

また、西条市の助役も部下の公務員に投票を依頼した疑いがあるとして、県警捜査二課と西条署は任意で事情聴取を行っている。

それにしても、自治体の首長をはじめトップ級の幹部らが、同様の容疑で相次いで逮捕・事情聴取を受ける事態に暗たんとしてざるを得ない。

特に、県内で自治体首長が逮捕されたのは、一九九九年十月

先の参院選をめぐり、温泉郡に背任容疑などで北宇和郡津島町長が逮捕されて以来であり、内海村民の衝撃の大きさが推察されよう。

同村長の赤樫重幸容疑者(六七)と同村柏の逮捕は、比例代表に自民党から立候補した森元恒雄候補(金巴)の当選、元自治省総務審議官IIを当選させようとする。部下の課長ら十人に同候補の後援会申込書を配り、投票などを依頼した疑いである。

重信町助役の和田正容疑者(六八)も同じ手口だが、役場内で選挙運動を行うことに疑問をはさまない感覚は異常である。住

民の手本となるべき立場の公務員が特定候補に肩入れし、地位を利用して投票を依頼するなど、というのは言語道断だ。

しかも、赤樫・和田両容疑者は役場の生え抜きであり、行政のイロハから学んだ人たちである。職員時代に何を身につけた首長らが、元自治省官僚候補らの票を率先してとりまとめ、利益誘導を画策しようとした側面も否めない。

役場は選挙事務所ではない

また、西条市の助役も部下の公務員に投票を依頼した疑いがあるとして、県警捜査二課と西条署は任意で事情聴取を行っている。

それにしても、自治体の首長をはじめトップ級の幹部らが、同様の容疑で相次いで逮捕・事情聴取を受ける事態に暗たんとしてざるを得ない。

特に、県内で自治体首長が逮捕されたのは、一九九九年十月

先の参院選をめぐり、温泉郡に背任容疑などで北宇和郡津島町長が逮捕されて以来であり、内海村民の衝撃の大きさが推察されよう。

同村長の赤樫重幸容疑者(六七)と同村柏の逮捕は、比例代表に自民党から立候補した森元恒雄候補(金巴)の当選、元自治省総務審議官IIを当選させようとする。部下の課長ら十人に同候補の後援会申込書を配り、投票などを依頼した疑いである。

また、西条市の助役も部下の公務員に投票を依頼した疑いがあるとして、県警捜査二課と西条署は任意で事情聴取を行っている。

それにしても、自治体の首長をはじめトップ級の幹部らが、同様の容疑で相次いで逮捕・事情聴取を受ける事態に暗たんとしてざるを得ない。

特に、県内で自治体首長が逮捕されたのは、一九九九年十月

先の参院選をめぐり、温泉郡に背任容疑などで北宇和郡津島町長が逮捕されて以来であり、内海村民の衝撃の大きさが推察されよう。

同村長の赤樫重幸容疑者(六七)と同村柏の逮捕は、比例代表に自民党から立候補した森元恒雄候補(金巴)の当選、元自治省総務審議官IIを当選させようとする。部下の課長ら十人に同候補の後援会申込書を配り、投票などを依頼した疑いである。

また、西条市の助役も部下の公務員に投票を依頼した疑いがあるとして、県警捜査二課と西条署は任意で事情聴取を行っている。

それにしても、自治体の首長をはじめトップ級の幹部らが、同様の容疑で相次いで逮捕・事情聴取を受ける事態に暗たんとしてざるを得ない。

特に、県内で自治体首長が逮捕されたのは、一九九九年十月

先の参院選をめぐり、温泉郡に背任容疑などで北宇和郡津島町長が逮捕されて以来であり、内海村民の衝撃の大きさが推察されよう。

同村長の赤樫重幸容疑者(六七)と同村柏の逮捕は、比例代表に自民党から立候補した森元恒雄候補(金巴)の当選、元自治省総務審議官IIを当選させようとする。部下の課長ら十人に同候補の後援会申込書を配り、投票などを依頼した疑いである。

自然学がきっかけに

ブック「蝶のくる庭」完成

重信くらしの学習会



「子供たちに、ステキな自然に触れる方法を提供したい」。こんな思いがこめられた自然ワークブックがこのほど、温泉郡重信町の「重信くらしの学習会」(林智子代表)から出版された。南日本自然史博物館(松山市)の榎博幸館長が執筆、監修した、チョウの観察を軸にしたワークブックで、表題はズバリ「蝶のくる庭」。

同会は八年ほど前、町えることでチョウが訪れる庭に、このほど、温泉郡重信町の「重信くらしの学習会」(林智子代表)から出版された。南日本自然史博物館(松山市)の榎博幸館長が執筆、監修した、チョウの観察を軸にしたワークブックで、表題はズバリ「蝶のくる庭」。

菊地さんは「子供たちは、図鑑で見てチョウの名前を調べても、それまで。そこから観察や研究へと入って行く子どもが少ない。実際に、間近でチョウやトンボを六、七冊、(税込)で配布見せてやりたい。この本は、松山市内、より深い自然の理解へと一歩踏み出すきっかけになれば」と話してし込みは菊地さんへ電話089(964)0388

その後、会員の菊地公子さんを中心に子供たちを対象にした観察会を実施。血ヶ嶺などを舞台に十五回程度の会を重ねた末、「子供たちと専門家をつなぐ機会をもっと幅広く提供し、自然を観察・研究するきっかけをつくりたい」と、念願のワークブックの発行に取り組みすることになった。

また、標本や生態写真の内容は、身近な環境でも観察できるチョウを、標準写真と生態写真で紹介。チョウの生活史を知った上、食草や吸蜜(きゅうみつ)植物を庭に植

主筆は、菊地公子さん。これまで自ら育てた庭の植物の姿や、チョウとの交流を紹介。一種ごとの観察記録や、鮮やかな写真は図鑑としても利用できる。

重信くらしの学習会が発行したワークブック「蝶のくる庭」。カラフルな図鑑としても魅力だ。



重信くらしの学習会が発行したワークブック「蝶のくる庭」。カラフルな図鑑としても魅力だ。

ついに完成! 「蝶のくる庭」 ¥1,260

好評 発売中

問い合わせ・申し込みは TEL(089)964-0387(菊地)

送料160円でお送りすることもできます。

是非お手元に 珠玉の1冊を!

本のお礼と報告です

「蝶のくる庭」やっと完成、やっと販売の段階です。長かったデス。その間、会員の方の「やればいいじゃないの」のひとつことが、ずっと私をささえ続けてくれました。その上、完成した今は販売に協力していただいて、全くもって感謝々々です。ありがたいことです。

自然がなぜ大切なのか、なぜ自然を知らなければならないのか、楠先生にいろいろお話を伺っているうちに分かってきたことがたくさんあります。昆虫は食物連鎖の構成上、種類も個体数も多く存在してくれなければ困るのです。いわば食べられるために昆虫はいるのだとも言えます。それは分かっているつもりでしたが、毎日の生活で目にするのは加工された小綺麗な食料品ばかりで、つい生物を食べて生きているのだという意識が薄らいでいました。でも土の中のバクテリアから巨大な鯨にいたるまで、気の遠くなるほどの関連を考える時、人はやはりその中のほんの一粒にすぎないという気がします。それと同時に身のまわりの環境、特に目に見えない化学物質による汚染に対して、人の感覚器官は少々鈍いのではなかろうかと。寿命の短い昆虫や魚や鳥などが傷ついていることをもっと知れば、同じ世界にすむ私たちももっと警戒するのではないかと思います。私は自分の無知が、自分を危険に向かわせているように思いました。あまり密度の濃くない脳ですが、もう少し自然のことを学ばなければと思っています。

以下 伊予銀行の地域文化助成金の会計報告と、本の販売状況を報告します。

○会計報告

<収入>

助成金	200,000円
カンパ	14,420円
合計	214,420円

<支出>

県下中学校に配布	1,260円×151校	190,260円
送料	160円×151校	24,160円
合計		214,420円

○販売状況

伊予銀行による配布	151部
個人的に販売、または電話注文	250部
書店への委託販売	450部
合計	851部

以上です。お世話になりました。 「蝶のくる庭」係 菊地

環境問題（水）を考える

7月27日付けの愛媛新聞によると、

「四国地方整備局が、2000年の四国内一級河川の水質状況をまとめた。

8水系21河川のランク付けでは、肱川5位、重信川17位、石手川は最悪の21位。

重信川水系は調査7地点のうち、拝志大橋と出合橋、川口大橋、石手川の市坪の各地点で環境基準を超えるBOD（生物化学的酸素要求量）を検出した。

汚濁の主な原因は、石手川や小野川などから流れ込む、家庭排水や農業用水の排水とみている。また、環境ホルモンの調査も実施した。環境ホルモン作用が疑われる人畜由来ホルモンを重信川の出合橋地点でごく微量検出したものの、環境ホルモンは検出しなかった」ということであった。

この結果には、重信川の上流に住んでいる住民の一人として、心が痛む。

重信町では、やっと公共下水道工事がはじまったところ。

一級河川ではないが重信町・松山市の住宅街を突き抜けている内川はどうなのだろう。更に、重信川、小野川、横谷川の上流の山中には一般・産業廃棄物最終処分場がある。有害物質が漏れないように、きちんと底に汚水遮断用シートを、また壁や底面はコンクリートで固めているのだろうかなど、不安は広がってくる。

安全な水の確保は生活する上で最低の条件。

愛媛県は、環境先進県づくりに向けて、循環型社会を構築するための重点施策を打ち出している。昨年4月に設立された愛媛県環境創造センター（立川涼センター長）での大きなテーマの一つとして、県内6ヶ所の河川で微生物を使った水質浄化実験を行っている。既に民間レベルでは、今治、西条では同様の取組みで成果をあげていると聞く。更に個人レベルでは、各地域でEM菌を使った米のとぎ汁の発酵液を下水に流し水質浄化に取り組んでいる人も多い。（私自身も実行している）

汚れたものを浄化するのも必要だが、汚さないためにはどうしたらいいのか。

数年前に岩手県の漁師さんが作った「森は海の恋人」というグループが『海が汚れたのは森に山に問題があるからと植林を行っている』との話を聞いたことがある。

山を川を海をそしてきれいな水と空気を取り戻すためには、森林の再生と整備が必要ではないかと思う。森林資源は、天然資源の中で、唯一生産可能であるという。

森や里山林や河川の大切さを知り、気づいた人から意識・価値観を変えて行き、一人ひとりが地道な努力を積み重ねていながら、それが大きな力になって行ったらこれほど喜ばしいことはない。

S. K

雑感（私の宿題のその後）

あれ程暑かった夏も終わり、雨の多い九月を迎えている。八月最後の週、私は翠波高原にコスモスを見に行った。台風 11 号の影響で倒れている株も多かったけれど、健気にたくさんの可憐な花を秋風にそよがせていた。コスモスは父の一番好きな花。その父は今、病の床にある。2 年前から母が入退院を繰り返すようになって以来、父は仕事の傍ら、慣れない家事を少しずつ覚え、朝食のメニューも、一つ、二つと増やしていた矢先、今年の夏の初め頃から会う度に疲れが目立つようになり、検査の結果肝臓に大きな病巣が見つかり入院することになった。母は自分の病気のせいで発見が遅れてしまったと、自らを責め、取り乱し、嘆く日々が続いた。確かに母のことがなければ、父の病はもう少し早く発見され、手術も可能だったかもしれない。しかし、2 年前私は母に強く手術を勧め、母は術後無事退院することはできたものの、決して“生活の質”の面を考えると、術前の状態に戻っているとは言えない。そんな現実を見ると、入院の直前まで仕事をし、現在は 1 日の内の数時間、外出許可をいただいて自宅に戻り、仕事を続けている父を見ると、父にとってはかえって良かったのかもしれないとさえ思える。しかし、今は父と母は同じ病室に入院しているからこそ可能なこんな生活も、二人が退院してからのことを考えると、“二人だけの生活は無理”という考えにとらわれてしまう。しかしまだまだ仕事をやめる決心のつきかねる父に生活の場をこちらに移すことを無理強いすることが老いた二人にとってどのような影響を与えるのかも計り知れない。夫とも相談し、父の決心がついた時、いつでも迎えることができるよう、我が家の近くにマンションを探しておくことにした。こんなやり方が、父や母にとって、決して長いとは思えないこれから先の人生を、真に幸せと安らぎの中で過ごすことができる最善の方法かどうか答えは見つからない。老いた親の生活を考えることは、子育てと同様それぞれの個人差があり、一人一人にとって最初で最後の試行錯誤を繰り返していくしかないのかもしれない。それでも今、私は最初の一歩を踏み出してみようと思っている。幸せなことに、私の気持ちを最優先にして一緒に悩み考えてくれる家族、励まし支えてくれる友人、様々な知恵を貸してくれる知人に恵まれている。孤独の中では、とても乗り切れない日々を、多くの人々に支えられて、何とか前に進むことができることを本当に有難いと感謝している。

(K・O)

ケータイの利便と危険

社会 欲望



携帯電話は身近な生活道具になった。いつでも、どこでも、電話をかけることができる。電子メールの送受信やインターネットの閲覧ができる機種もあり、その利便さは年々増すばかりだ。

兵庫県の中園自動車道で、手錠をかけられた中学一年の女子生徒が見つかり、死亡した事件では、便利な道具が容疑者の公立中学校教諭と被害者を引き合わせた。

この教師と女子生徒は、テレホンクラブのツインショットダイヤルで知り合った。「面識のない異性との一時的性的好奇心を満たすための交際を希望する者に会話の機会を提供する」。6月末に公布、1年以内に施行される改正風俗営業法は、テレクラをこう説明する。その言葉通りに起きた、悲しい犠牲だった。

容疑者は前任校で約10カ月休職し、現在

の学校でも6月から病気を理由に休んでいた。生徒指導などをめくって悩んでいたという。教師としての資質は無論のこと、女子生徒の家庭環境に問題がなかったかといった事情も、事件の背景として解明していかなければなるまい。

だれよの許し難いのは、中学生であることを知りながら連れ去った容疑者である。しかしそれにしては、12歳の子ともが、これほど簡単に危険に接近してしまう事実は、懸念を抱かざるを得ない。

親は手に「一人で盛り場に行つてはいけぬ」「夜遅くまで遊んでいてはだめだ」と注意して来た。繁華街には多くの誘惑があり、深夜になると危険が増すことを体験的に知っているからだ。

だが、携帯電話は時間や空間の隔たりを瞬時に超えてしまう。その分、ためらいや不安を消す。そして、いとも簡単に危険な出合いを成立させる。

どうすればいいのか。インターネットで、成人向けホームページを見られなくするソフトは、すでに実用化されている。携帯電話でも同じようなソフトを開発し、普及させることも考えべきだ。

テレクラ業者は、改正風俗法で、18歳未満の人の通話を取り次いではいけないことになる。施行までに、実効があがるような仕組みにしてみたい。

とはいえ、子どもたちに危険を教え、危険から守るうえで、一番大きな役割を果たすべきは、やはり家庭である。

私たちには、携帯電話やインターネットのもつ利便性を知る機会はいくらでもある。しかし「影」の部分については、今回のような事件が起きた場合を除けば、知ることは少ない。

子どもに携帯を買い与えるとき、通信料の支払いに同意するとき、利便性の裏にあるリスクをしっかりと教える必要がある。その後の使い方も目を配ってほしい。

いけない使い方や、やってはいけないことを自覚させるのは、「携帯以前」のしつけであり、教育であろう。

水害に強い都市に

豪雨 集中



台風15号は各地に強い風雨をもたらした。日本列島を縦断するコースをたどっている。十分な警戒が必要だ。

台風15号は各地に強い風雨をもたらした。日本列島を縦断するコースをたどっている。十分な警戒が必要だ。

とりわけ都市は雨にも強い。端的に表れたのが、ちょうど1年前に東海地方を襲った集中豪雨だ。被害総額は愛知県だけで8

65.6億円に達し、住宅や事業所などの被害は過去40年間の水害で最大だった。韓国、ソウルでも、今年7月に同じような水害が起きた。近年はこうした人口密集地の都市型水害が目立っている。

都市では、雨水は下水道へ流れ、あるいはポンプで中小河川へ流す。街がコンクリートで覆われ、農村のように水が田畑にた

まったり、しみ込んだりしない。下水道や川の能力を上回る雨が降れば、水は街にあふれるしかない。

下水道や川の能力を過信せず、他の対応も併せて講じなければならぬ。

横浜市では、W杯サッカー競技場を地面から浮いた高床式で建設した。床下は雨水をためる「遊水地」だ。

東海豪雨後、名古屋は雨水をためる5年計画に乗り出した。地下貯水池の数、いざという時に遊水地になる学校のグラウンドや公園を増やす、という内容である。

東京都は今年、車道の一部を雨水がしみ込む舗装に変えた。歩道はすでに3分の1が透水性になっている。これに面積の大きい車道が加われば、効果は大きい。

東海豪雨から1年。都市治水を見直す機運が強まったことは望ましい。これまでの下水道・川への依存から、雨水をため、しみ込ませる方向に、防災や事業の力点を移していってほしい。

人命を守るうえで、大切なことは避難態勢などの危機管理である。

東海豪雨では10人が亡くなり、避難勧告

私たちに、携帯電話やインターネットのもつ利便性を知る機会はいくらでもある。しかし「影」の部分については、今回のような事件が起きた場合を除けば、知ることは少ない。

子どもに携帯を買い与えるとき、通信料の支払いに同意するとき、利便性の裏にあるリスクをしっかりと教える必要がある。その後の使い方も目を配ってほしい。

いけない使い方や、やってはいけないことを自覚させるのは、「携帯以前」のしつけであり、教育であろう。

の遅れが指摘された。名古屋や愛知県西枇杷島町は、その反省から、雨量などを基にした避難勧告基準をつくった。また、その発動前に準備情報を出し、情報伝達をきめ細かくするようにした。

政府は今年6月の水防法改正に基づいて、全国の自治体にハザードマップ（災害予測図）を作成するよう求めている。大雨のときの浸水予想区域や避難場所を明示したものだ。早くからマップを持っている福島県郡山市では、98年の水害のときに住民の避難行動が素早かったという。

現在1・4の自治体がマップを揃えているが、東京や大阪など大都市はまだほとんどない。作成を急がねばならない。

東京都は最近、都心を貫く神田川について、大雨の場合の浸水予想図をつくった。予想地の多くは昔、川や池、湿地だった。いまは住宅が建つ。

そこから動くわけにはいかないにしても、住民は自分たちがどんな場所に暮らしているかの知識があれば、心構えが違ってくるはずだ。住民と行政が情報を共有することも、水害に強い都市の条件である。



秋のおさんぽ会のお知らせ



毎年春と秋に開催している“おさんぽ会” 今年も企画しました。

日時：10月20日（土）午後2時 町民会館集合

場所：酒だる村から歩いて山道を散策する インストラクター：斉藤智子さん

詳しいことはまたチラシを作ってお知らせします。なお、蓋つき瓶を持ってくれば蜂蜜のおみやげがあるかも……。会員は10月例会も兼ねて行います。秋のひとつき、色々教えてもらいながら秋を満喫しませんか。

参加者は林まで Tel/Fax (964-6956) E-mail :kt-hayashi@nifty.com

10月17日（水）までにお申し込みください。



扶桑社の市販本 歴史教科書と公民教科書を会で購入して、今会員の間で回し読みしています。何が問題か、どこがおかしいかを自分たちの目で確かめようと思いました。神話がかんりのページを割いて載っている点、朝鮮・中国支配の記述の中で、一部その国民が望んだというような箇所など、確かに問題はあるようです。一般読み物としてはかなり面白い。しかし教科書としては問題があるというところでしょうか。読んでみたい方は林までお申し出ください。貸し出しいたします。

くらしの学習会では、随時会員を募集しています。

活動会員 2000円/年 購読会員 1000円/年

振込口座番号（郵便局） くらしの学習会 01610-5-21026

問い合わせ先 TEL/FAX 089-964-6956 (林)

E-mail kt-hayashi@nifty.com

合併問題に関する意見・問い合わせには専用のメールアドレスができました。 gappei@town.shigenobu.ehime.jp これは企画財政課 加藤課長および安井係長直通だそうです。是非町民の意見を直接伝えましょう。

編集後記

あまりにもショックな同時多発テロ事件に打ちのめされたここ数日。何とか平和な方向を探って欲しいと願ってやみません。(T・H)